

三朝町における中学校部活動 の地域移行について

～ 令和5年 第1回 三朝町部活動地域移行検討委員会 資料 ～
三朝町教育委員会事務局

目次

1. 部活動の地域移行への動きと背景 ……1
2. 部活動地域移行検討委員会の設置 ……6
3. 三朝中学校における部活動の現状 ……7
4. 地域移行に係るアンケート調査の結果 ……9
(令和4年度実施分：概要)
5. 地域事情を踏まえた課題 ……16

1 部活動の地域移行への動きと背景

(1) 部活動の意義と役割

部活動の意義と位置付け

中学校学習指導要領（H29.3月告示）総則（第1章第5の1のウ）より抜粋

生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動については、

- ・スポーツや文化、科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等に資する。
- ・学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意すること。
- ・学校や地域の実態に応じ、地域の人々の協力、社会教育施設や社会教育関係団体等の各種団体との連携など運営上の工夫を行い、持続可能な運営体制が図られるようにする。

部活動が果たしてきた役割

体力や技能の向上、芸術文化等の活動に親しむ基礎を形成、異年齢との交流、生徒同士や生徒と教員等との好ましい人間関係の構築、生徒の多様な学びの場 等

1

1 部活動の地域移行への動きと背景

(2) 部活動の地域移行への背景

背景① 少子化による影響

- 中学校生徒数の減少が加速するなど深刻な少子化が進行
〔生徒数：昭和61年589万人→令和3年296万人に半減〕
- 部員が集まらない部活動が急増し、団体競技が成り立たない事態が発生

背景② 学校の働き方改革を踏まえた部活動改革

- 部活動は休日を含め、教師の献身的な勤務によって支えられているが、長時間勤務の要因や競技経験のない教師にとって負担となるなど、働き方改革が進まない要因であると指摘されている。

2

1 部活動の地域移行への動きと背景

(3) 国及び県・県教委の動き

国の動き	県・県教委の動き
<p>〈スポーツ庁〉_H30.3 〈文化庁〉_H30.12 「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」 「文化部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」</p> <p>生徒にとって望ましい部活動の実施環境の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運動（文化）部活動の方針の策定 ○適切な休養日等の設定 ○地域におけるスポーツ、芸術文化等の環境整備 <p>〈スポーツ庁・文化庁〉_R2.9 「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」</p> <p>「学校と地域が協働・融合」した部活動の実現方策とスケジュールの提示</p> <ul style="list-style-type: none"> ○休日の部活動の段階的な地域移行 ○拠点校（地域）における実践研究の実施 	<p>〈鳥取県・県教委〉_H30.12、H31.3 「鳥取県運動部活動の在り方に関する方針」 「鳥取県文化部活動の在り方に関する方針」</p> <p>適切な休養日等の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学期中は週当たり2日以上以上の休養日を設ける ○1日の活動時間は平日2時間程度、休日3時間程度 <p>生徒のニーズを踏まえた環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○合同部活動、部活動加入の自由選択 等 <p>〈境港市〉_R3.9～ 県内拠点施設における地域移行に係る実践研究 〈鳥取市鹿野町〉_R3.4～ 県内拠点施設における地域移行に係る実践研究</p>

3

1 部活動の地域移行への動きと背景

(3) 国及び県・県教委の動き（続き）

国の動き	県・県教委の動き
<p>〈スポーツ庁・文化庁への提言〉_R4.6/R4.8 「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」 「文化部活動の地域移行に関する検討会議提言」</p> <p>検討会議が示した部活動改革の方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> ○まずは休日の部活動から段階的に地域移行 ○令和5年度から開始、令和7年度末を目標 ○受け皿の想定はスポーツ少年団、クラブチーム等 ○平日の部活動地域移行は進捗状況の検証後 	<p>〈鳥取県・県教委〉_R3:3回、R4:2回 「鳥取県運動部の在り方検討会」を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村長及び市町村教育委員会へ説明 ・県中学校長会へ説明 ・PTA研修会での説明 <p>県内関係機関と協議を重ねた結果、課題が山積しており、令和4年度中の方針提示は困難と判断。</p> <p>〈鳥取県・県教委〉_R5.5 課題を整理し、今夏を目標に「地域移行推進計画」を策定し、方針を示す予定</p>

4

1 部活動の地域移行への動きと背景

(3) 中部圏域及び町教委の動き

中部圏域の動き	町教委の動き
<p>〈中部圏域教委〉_R4.4、5、6、11（計4回） 「部活動地域移行に関する中部地区意見交換会」</p> <p>中部圏域の教委事務局で方向性を検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中部の地域移行は1市4町で一体的に進める ○アンケート調査（生徒・保護者・教師）の実施 ○各市町の検討状況の共有 <p>〈中部教育長会〉_R4.8、10、11、1（計4回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中部としての「基本的な考え方」を検討 ○国県に対する要望事項の協議 <p style="text-align: center;">↓</p> <p>県教委より令和4年度中の方針提示は困難と報告を受け、方針提示を待って再協議となる。</p>	<p>〈町教委・三朝中〉_R3:1回、R4:2回 「休日の部活動の地域移行に関する意見交換会」</p> <p>〈町教委・中学校〉_R4.5 保護者、生徒、教師を対象としたアンケート調査を実施</p> <p>〈町教委・小中学校〉_R4.6 保護者を対象とした説明会を実施</p> <p>〈町教委・小中学校〉_R5.1 検討状況について小中保護者へ書面通知</p> <p>〈町教委・学校・PTA・地域スポーツ団体〉_R5.6 「三朝町部活動地域移行検討委員会」を設置</p>

5

2 部活動地域移行検討委員会の設置

(1) 設置の目的

- 生徒にとって望ましい部活動の地域移行を着実に実施するため、学校と地域が連携を図り、保護者の負担を十分配慮しつつ、子どもたちのニーズに適したスポーツ・文化活動の受け皿の体制づくり及び運用方策等について検討することを目的とする。

検討結果を教育委員会へ報告

(2) 主な検討事項

- ① 部活動の考え方及び地域移行に係る仕組みづくり
- ② 教師の関わり方を含めた持続的な運営方法の在り方
- ③ 地域移行に伴う経済的負担の在り方
- ④ その他段階的な地域移行に関する事項

6

3 三朝中学校における部活動の現状

(1) 本町における児童生徒数の推移

① 小中学校児童生徒数（R5.5.1現在）

区分	三朝小学校			三朝中学校		
	男	女	計	男	女	計
1年生	23	23	46	24	24	48
2年生	23	26	49	33	17	50
3年生	29	23	52	31	28	59
4年生	20	22	42			
5年生	26	21	47			
6年生	15	31	46			
総数	136	146	282	88	69	157

② 今後の児童生徒数の推移予測

区分	三朝小	三朝中	総数
R5(2023)	282	157	439
R6(2024)	277	145	422
R7(2025)	259	143	402
R8(2026)	246	137	383
R9(2027)	218	142	360
R10(2028)	193	144	337
R11(2029)	165	148	313

7

3 三朝中学校における部活動の現状

(2) 部活動の活動状況

(R5.5.1現在)

部活名	人数	活動状況	部活動指導員	外部指導者	活動場所・施設	
サッカー	15	週5日 (土日を含む)	○		小学校校庭・陸上競技場（雨天時：校舎内）	
ソフトテニス	17				美の田テニス場（雨天時：校舎内）	
バスケットボール	21		○		トレーニングセンター	
バレーボール	14			○	トレーニングセンター	
吹奏楽	11				中学校音楽室・GCLルーム	
卓球	16				中学校体育館	
軟式野球	15			○	○	野球場
陸上競技	16					小学校校庭・陸上競技場・学校周辺の土手
美術	16		週4日（平日のみ）			中学校美術室
未加入者	16					
合計	157				※スポ少加入6名（空手道4、バドミントン2）	

8

4 地域移行に係るアンケート調査の結果（概要）

令和4年度に三朝中学校の生徒、保護者、教師を対象に部活動の地域移行に係るアンケートを実施。

なお、結果についてはR4.6月の保護者説明会で報告。

【アンケート調査の概要】

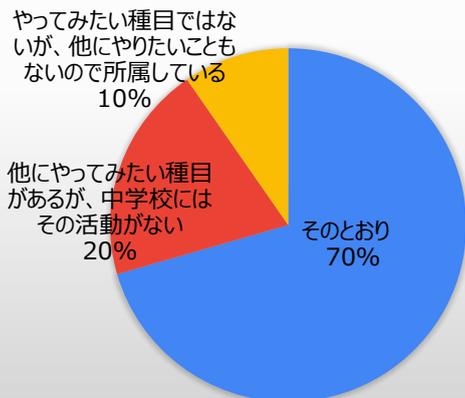
1. 対象者：生徒、保護者、教師(管理職、事務職員除く)
2. 実施期間：令和4年5月30日～6月5日（7日間）
3. 回収率
 - (1) 生徒 156/163人（95.7%）
 - (2) 保護者 ①小学校（4～6年生）35/141人（24.8%）
②中学校（全学年）65/163人（39.9%）
 - (3) 中学校教師 12/17人（70.5%）

9

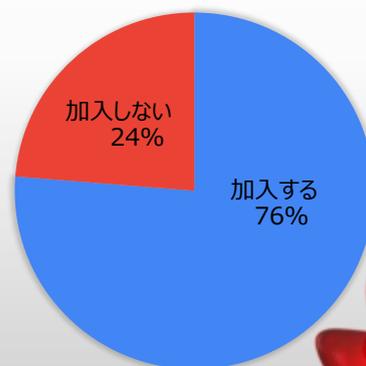
4 地域移行に係るアンケート調査の結果（概要）

【対象：児童生徒】

Q.あなたが現在所属している部活動は、あなたがやってみたい種目の活動ですか



Q.部活動の加入が自由になった場合、学校の部活動に加入しますか

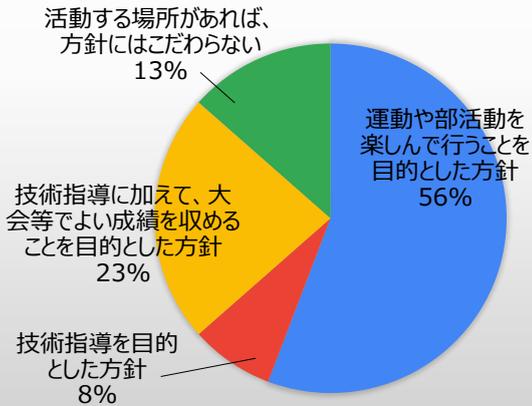


10

4 地域移行に係るアンケート調査の結果（概要）

【対象：児童生徒】

Q.休日の部活動を地域が担う場合の活動方針としてあなたが望むものはどれですか



休日における部活動の地域移行についての主な意見

大会がもうすぐの時ならまだしも休日を奪ってまで部活をする必要はないと思う。場所は、できれば広いところで設備のいい所の方がいいと思う。

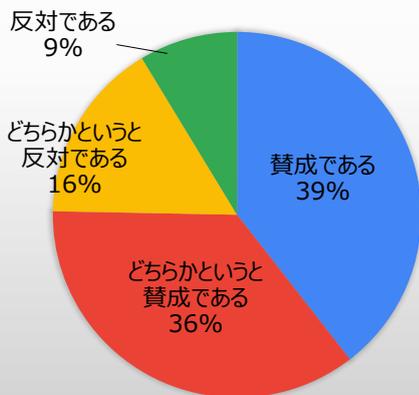
地域で、指導して下さる方がおられないことがあるかもしれないので、学校の先生に指導していただきたいです。

11

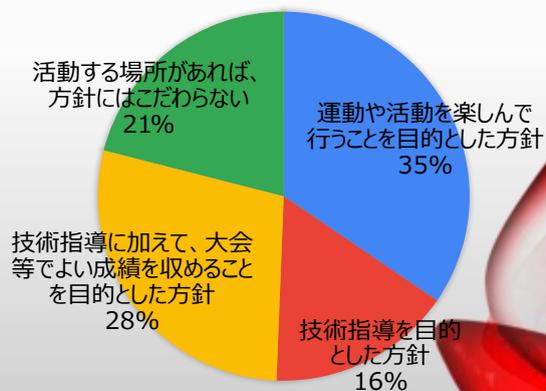
4 地域移行に係るアンケート調査の結果（概要）

【対象：保護者】

Q.休日の部活動を地域又はスポーツクラブが担うことについてどう思いますか



Q.休日の部活動を地域が担う場合の活動方針として、あなたの望むものに近いものはどれですか

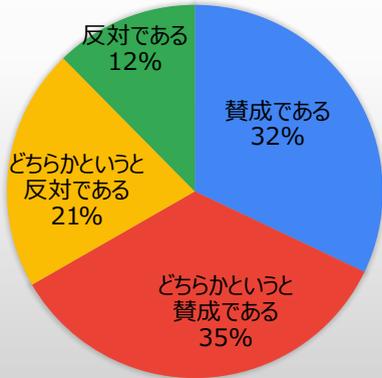


12

4 地域移行に係るアンケート調査の結果（概要）

【対象：保護者】

Q.地域移行後は、学校の活動ではないため、指導者の報酬や参加者の保険料等は、基本的に受益者負担となる見込みですが、どう思いますか



休日における部活動の地域移行についての主な意見

学校によって希望する部活がない場合もあり、機会が均等でないので、やりたい人、できる人だけですればよい。

中学校部活では教員の負担が大きい。人格や指導方法、適任の指導者であれば賛成であるが、何を基準に選定させるのか不明。

中学生がスポ少の練習に参加することで、小学生にとってはメリットが大きいが、指導者の負担が増えるのではないか。指導者はほぼボランティアで指導してくれているので、何らかの手当が必要だと思う。

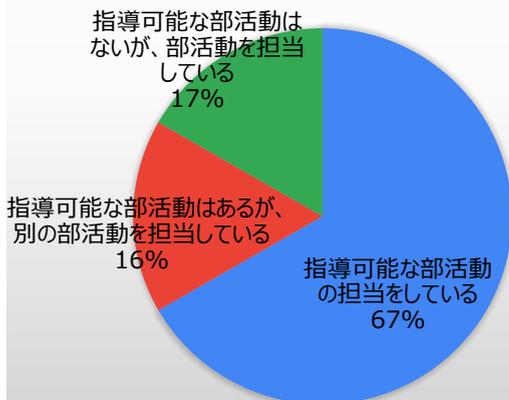
中学校の部活は学校単位とするなら、学校が責任を持つべき。地域やクラブチームで担うなら学校は一切関わりを持つべきではない。指導者が生業として生活できるくらいの報酬が払えるとは思わない。

13

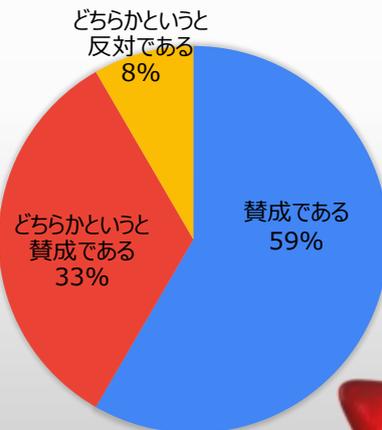
4 地域移行に係るアンケート調査の結果（概要）

【対象：教師】

Q.現在の指導状況について



Q.休日における部活動の地域移行について

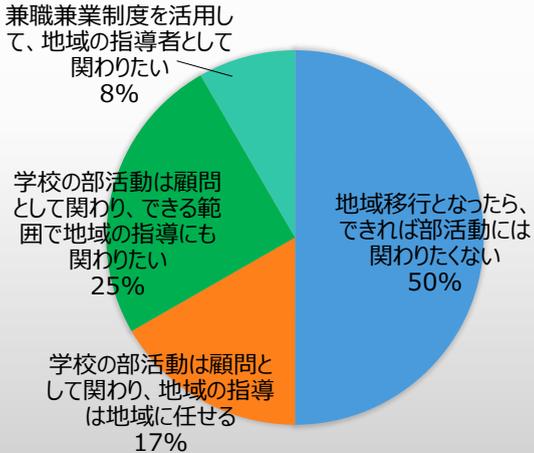


14

4 地域移行に係るアンケート調査の結果（概要）

【対象：教師】

Q.休日の部活動が地域移行となった場合、あなたは部活動とどのように関わりますか



休日における部活動の地域移行についての主な意見

教員の負担軽減につながるため、休日だけでなく、平日についても移行すべきだと思います。

勤務等時間【実働時間】の削減により、教師・生徒の自由活用時間がより確保でき、他の活動の質の向上を期することができる

賛成だが、綺麗に移行が出来ず、なし崩しにならないようにして欲しい。

社会体育との連携をきちんとした上で進めて欲しい。見切り発車だけは避けていただきたい。

部活動は教員の業務ではないと考えている。

平日に学校で部活動をしている以上、休日だけ切り離すのは難しいと思う。（そもそも平日の部活動も勤務時間外）

15

5 地域事情を踏まえた課題

(1) 本町で想定される課題の洗い出し

部活動の設定	中学校が部活動として取り組む競技・種目・体験・文化活動の整理
実施主体	受け皿団体と中学校との調整業務や、全体的な運営管理の業務の所管
責任・管理	地域移行後の活動時における安全管理上の責任の所在
指導者	受け皿団体の指導者の確保及び育成、部活動指導を希望する教師が関わりやすい仕組みづくり
活動場所	休日の活動場所の確保と調整方法、利用ルールの設定、必要に応じた施設改修
移手段	活動場所や拠点校によって発生する参加者の移動負担への対応
費用負担	参加者の費用負担（指導料・保険料・施設使用料等）の考え方や財源確保
大会等への出場	合同チーム編成の規定や交通手段の考え方、引率者の責任の所在等の整理

16